

「NSCarbolex™」ブランドの立ち上げ

AM/NS Indiaにおける製鉄事業基盤の強化について

日本製鉄とArcelorMittal India (AM) がインドで展開している合併事業 ArcelorMittal Nippon Steel India Limited (AM/NS India) は、製鉄事業基盤強化施策の実施を決定しました。

AM/NS India は、今後のインドマーケットでの需要拡大を捉え市場プレゼンスの確保を図るべく、既存ハジラ製鉄所の未使用土地を活用した鉄源・熱延設備などの新設・増強投資を行い、生産能力を拡大します(粗鋼生産能力: +約600万トン/年、投資額: 約4100億インドルピー(約7300億円))。

また今回の設備新設・増強は、将来両親会社である日本製鉄とAMが開発中のカーボンニュートラル技術のトランスファが可能となるプロポジションを備えた方策としています。

また、エッサル・グループが保有する港湾・電力などのインフラはAM/NS India の製鉄事業運営において一体不可分の重要基盤設備であることから、今般、エッサル・グループとそれらの買収に関して合意しました(買収金額: 約24億米ドル(約3400億円))。

広畑地区電炉の商業運転開始 「カーボンニュートラル技術である 大型電炉での高級鋼製造技術の開発を着実に推進」

日本製鉄は、瀬戸内製鉄所広畑地区に新設した電炉の商業運転を10月より開始。世界初となる電炉一貫でのハイグレード電磁鋼板の製造・供給を可能にしました。今後、お客様のカーボンニュートラル・スチールに対するニーズにお応えしていくための第一歩であり、大型電炉での高級鋼製造に挑戦します。

具体的には、波崎研究開発センター(茨城県神栖市)に、大型化を見据えた小型電気炉(10トン)を設置し、2024年度から試験を開始。また小型シャフト炉を設置し、水素で低品位鉄鉱石を還元する試験を2025年度より開始します。

日本製鉄は、大型電炉での高級鋼製造の実現に向け、研究開発を一層深化させます。

日本製鉄は、2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン2050」を掲げ、経営上の最重要課題として取り組んでいます。この取り組みを通じて、日本製鉄が世の中に提供する「社会全体のCO₂排出量削減に貢献する製品・ソリューション技術」を総称したブランド「NSCarbolex」(エヌエスカーボレックス)を立ち上げました。

「NSCarbolex」は、次の2つのブランドから構成されます。

鉄鋼製造プロセスにおけるCO₂排出量を削減したと認定される鉄鋼製品「NSCarbolex Neutral」

本製品のCO₂排出量削減の認定手法としては、製造プロセスの変革・改善などによって日本製鉄が実際に削減したCO₂排出量の総量を把握し、それを任意の鉄鋼製品に割り当てるマスバランス方式を活用し、2023年度上期から販売を開始します。

社会におけるCO₂排出量削減に寄与する高機能製品・ソリューション技術「NSCarbolex Solution」

お客様のものづくりの過程でのCO₂排出量削減、お客様の製品が社会で使用される際のCO₂排出量削減、およびカーボンニュートラル社会の実現に向けた社会のエネルギー転換への貢献、といった3つの視点での価値提供に取り組めます。

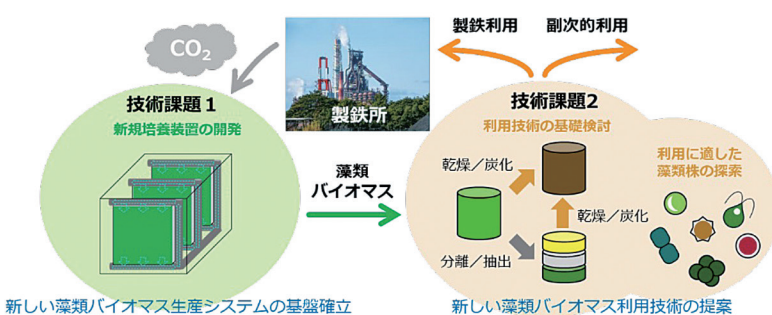
今後、日本製鉄ウェブサイトに「NSCarbolex」に関する情報を発信するとともに、「NSCarbolex」のあらゆるメニュー拡充、および安定的な供給体制の確立を通じて、お客様の脱炭素化・競争力向上、ひいてはカーボンニュートラル社会の実現に貢献していく予定です。

NSCarbolexのブランド体系と、各ブランドのロゴ表記



「NSCarbolex」ブランドウェブサイト
https://www.nipponsteel.com/product/ns-carbolex/

NEDO 委託事業「CO₂の高効率利用が可能な藻類バイオマス生産と利用技術の開発」をカーボンリサイクル実証研究拠点で研究開始



「CO₂の高効率利用が可能な藻類バイオマス生産と利用技術の開発」の概要

- ※1 本事業は、NEDO が広島県大崎上島に開設したカーボンリサイクル実証研究拠点において実施。当該研究拠点の基礎研究エリアで最初に実施される6事業のうちの1つとして採択された。
- ※2 カーボンリサイクル: CO₂を資源と捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用すること。
- ※3 藻類バイオマス: 微細藻類が増殖する過程で固定された有機物の総体。

広報誌バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。右記二次元コードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。

なお、定期送付ご希望の方は下記アドレスよりお申し込みください。

<https://www.nipponsteel.com/company/publications/quarterly-nipponsteel/index.html>



読者アンケートはWEBでも受け付けています。

下記URLもしくは右記二次元コードよりアクセスしてください。
<https://krs.bz/nssmc/m?f=78>



「ProStruct™」の立ち上げ 「鋼材×利用技術」パッケージシリーズ

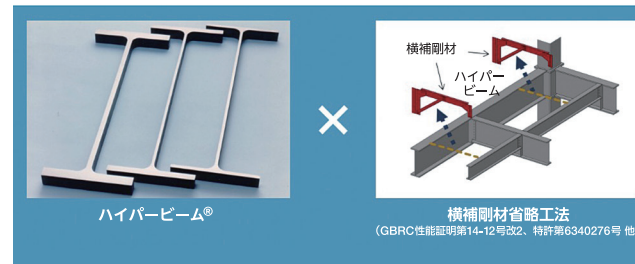
日本製鉄は、このたび、建物やインフラ構造物の建設市場に対して高度なソリューションを提供するブランド「ProStruct(プロストラクト)」を立ち上げ、本年10月より運用を開始しました。「ProStruct」は、建設市場のさまざまな課題に応えるため、日本製鉄の持つ高性能な鋼材製品と高度な鋼構造技術を組み合わせた「鋼材×利用技術」パッケージを、材料・設計・施工までの総合技術サポートとともに提供することを目指します。



鋼管杭 × 硬質・地中障害物貫通工法(ジャイロプレス工法®)



ハイパービーム® × 横補剛材省略工法



「ProStruct」ブランドウェブサイト <https://www.nipponsteel.com/product/prostruct/>